

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

日時：2026年2月17日（火）15：00～15：50

場所：グループホームそれいゆ

出席者：

<構成員>

利用者 A、利用者家族 B、町会長 C、荒川区障害者福祉課 D

<職員>

代表理事、管理者、サービス管理責任者、記録員

概要：

1. 開会あいさつ

管理者より、開会の挨拶および地域連携推進会議の目的について説明。

2. 出席者紹介

各自、自己紹介を実施（出席者8名）

3. 資料に沿った説明

※管理者より、別紙の資料に沿って説明

- ・ 共同生活援助事業の概要
- ・ グループホームそれいゆ概要
- ・ 1日の流れ
- ・ 職員の配置状況
- ・ 日常の様子
- ・ 事業計画
- ・ イベント年間計画
- ・ 事故報告・ヒヤリハット報告と防止対策、苦情
- ・ 利用者アンケート調査の報告

4. その他ご意見等

■ 近隣状況・騒音等について

町会長 C) 町会の会合でも話にあがったが、今は騒音のクレームはないのか？

管理者) 最近は当該者を見かけない。

代表理事) 警察を呼んで以降、クレームは入っていない。

管理者) 1階のデイサービスを閉鎖したので、あまり姿を見ることがない。防犯カメラにも映っている様子がない。過去に保護者へ威嚇してきたこともあったが、現在は落ち着いている様子。

代表理事) 開設から丸10年、近隣の皆様のおかげで大きなトラブルなく運営できており、ありがとうございます。他の地域だと開設時から苦情が出る例もある。

■ 災害時の対応について

町会長 C) 災害時の対応はどうなっているのか? 地域としては物資を届けることは可能だが、グループホーム内部の支援のお手伝いは難しい。災害時の対策は、グループホーム内で検討してほしい。

管理者) 弐号館は建物が古く木造なので、危険。入居者のうち3名は自力で避難できると思うが、1名は歩行が困難なので、車椅子移動などで近所の方の力を借りたい。

町会長 C) マンションや堅牢な建物は基本的に施設内避難。支援物資の運搬が一番の課題と考えている。5丁目町会長と打ち合わせができれば良い。

代表理事) 5丁目の町会長さんとはグループホーム開設時に1度ご挨拶してからお会いしておらず、今の町会長が同一人物かも不明。

管理者) 隣近所の方が良い方ばかりなので、いざとなったときは助けてもらえると思う。

町会長 C) 壺号館の隣接建物は木造なので、ガラスなどの飛散リスクがある。

代表理事) 水害の場合は? 壺号館は3階に避難できるが…

町会長 C) 東日本大震災級の津波でなければ、1階浸水の可能性はあるが、2階までの浸水は想定しにくい。

■ 利用者・家族の声

利用者家族 B) お世話になり始めて7~8年経つが、地域に根差しており、実家との行き来も可能な距離で、本人・家族ともに満足しています。

利用者 A) 入居して5か月、引っ越してきて良かった。

■地域との関わりについて

荒川区 D) 本日は保護者や利用者からの声を聞くことができてよかった。地域に根差した運営を継続していただきたい。地域との関わりはどうしているのか？

管理者) 以前はレモネードスタンドを実施していたが、現在は特段の交流はない状態。グループホームの避難訓練に町会の方にも参加していただきたいと考えている。

町会長 C) 今は町会で避難訓練は行っていない。年に1回、防災ふれあい祭りを実施し、地域の方同士の交流を深め、非常時には協力して命を守れるようにしている。昨年、尾久小学校区の5町会で、避難所開設訓練を実施。火事の際は尾久の原公園へ避難。家が燃えて被災したときは、尾久小で避難生活を送る。それいゆとの関わりについて、何ができるかまだよく分かっていない。町会長に就任するまで施設の存在を知らなかった。今後少しずつ何かできると良い。

5. 施設見学

壺号館、弐号館の順に、共有部（ダイニング、キッチン、浴室、トイレ）と居室を見学

6. 閉会

管理者より、閉会の挨拶

以下余白